

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大北の歴史伝承・デジタルアーカイブ化事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 縁家 (0261-22-4018)
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	580,309円 (うち支援金: 434,000円)

事業内容

歴史を語る講師が減少する中、アーカイブ化により貴重な話しを保存し、地域の子どもや歴史を学ぶ方々に向けて資料作成や貸出などをしながら活用した。また、昨年度作成したパンフレットを活用し、大北地域に存在する国登録有形文化財を紹介し地域の歴史・文化の魅力を発信した。「登録有形文化財展」も昨年同様に実施し、一部常設展示も行った。

その他に2年間の講座内容を元に、「千国街道(塩の道)」と「平林甚左衛門」に関する資料・パネルを充実させた。



【文化講座：糸魚川街道の交易と流通】

【目標・ねらい】

- ① 文化講座のデジタルアーカイブ化
- ② 汎用性の高い資料・パネルの作成
- ③ 大北地域の国登録有形文化財展開催と常設展示

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 文化講座をデジタルアーカイブ化し DVD での貸出実施と観光ボランティアへ寄贈を行った。
- ② 小中学校の社会科学習で活用できるパネル作成を行った。また、昨年作成したパンフレットを関係施設に配布し活用していただいた。
- ③ 「登録有形文化財展」も実施し期間中 771 名の来館者に大北地域の登録有形文化財について知っていただけだ。

※自己評価【 B 】

【理由】小中学生の社会科学習の内容が大変充実し高評価をいただいているが、DVD の貸出が伸びず、周知や活用方法に課題が残った。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

大町市内外の小中学生の学習の場として定着してきているため、より充実した冊子やリーフレット作成に取り組みたい。継続して文化講座のデジタルアーカイブ化も行い SNS を活用した発信も行う。また、登録有形文化財についての常設展示も充実させる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある